

屋外設置形 ガス給湯器

取扱説明書

(商業用 / 業務用専用)

品名	633-1002型	633-1011型	638-1022型 (マルチコントローラ)
型式名	GS-321GW	GS-550GW	MC-08



このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

このガス給湯器には保証書が付いています。内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の品名ラベルと銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



仕様

〔仕様表〕

項目	内容
品名	638-1022型 (マルチコントローラ)
型式名	MC-08
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅352×奥行130×高さ580/10
電源	AC100V(50/60Hz)
出力端子	循環ポンプ用電磁閉閉器用端子(AC100V 0.5A) 外部ファン用電磁閉閉器用端子(AC100V 0.5A) 週間プログラムタイマー用出力(AC100V 0.5A) AC100V外部出力(AC100V 0.5A)
入力端子	アラーム接点 風圧スイッチ※ 週間プログラムタイマー※ 通信コード用端子(4ヶ所)
熱源機との接続	電源端子(2ヶ所)
接続可能台数	リモコン接続端子(2ヶ所) 32号 最大20台まで 55号 最大10台まで
安全装置	漏電安全装置(漏電ブレーカー)
付属品	壁固定ネジ一式・信号コード2m
別売品	メインリモコン・サブリモコン・防湿形サブリモコン・電源ユニット

※現地調達品

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。

05J011

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX参照) 参照ページを示しています。

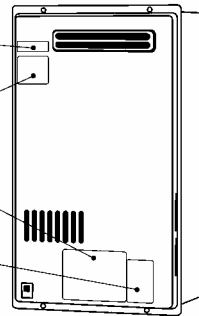
■機器本体の表示について■ (図は633-1002型を示します)

やけど注意
排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

品名ラベル
品名を表示しています。

使用上の注意
使用上の注意について表示しています。

銘板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造業者等を表示しています。



この製品の特長

●お使いになる湯温や、湯量に応じてガス量を自動調節します。

●冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。(機器のみ)

●別売品のメインリモコン(038-0207型)、サブリモコン(038-0208型)、防湿形サブリモコン(038-0209型)を取付けている場合、給湯温度は37~75℃の間で、16段階に調節できます。
またメインリモコン(038-0207型)を取付けている場合に限り、施工時に、37~80℃の間で16段階の調節ができる設定(高温対応)にすることも可能です。(→P. 15参照)

[633-1002型の場合]

●1台だけでなく、2台から20台までのマルチ設置が可能です。(最大640号)

[633-1011型の場合]

●1台だけでなく、2台から10台までのマルチ設置が可能です。(最大550号)

☆安全に正しくお使いいただくために・・・ 1
この取扱説明書の表示について
機器本体の表示について

☆この製品の特長・・・ 2
☆必ずお守りください・・・ 3
☆各部の名称とはたらき・・・ 7

☆ご利用前の準備・・・ 11
メインリモコン(038-0207型)の現在時刻の合わせかた・・・ 11

☆リモコンなしでお湯を使う・・・ 12
☆リモコン(別売品)でお湯を使う・・・ 13
操作の基本・・・ 13
優先の切替えについて・・・ 14
給湯温度の調節・・・ 15

☆プログラム運転を使う・・・ 16
プログラム運転について・・・ 16
プログラム時刻の合わせかた・・・ 16
プログラム運転のしかた・・・ 17
☆循環回路制御について・・・ 19

☆冬期の凍結予防をするには・・・ 20
☆点検のポイント・お手入れのしかた・・・ 24
点検のポイント・・・ 24
お手入れのしかた・・・ 24
定期点検のすすめ・・・ 24
給水口フィルターの掃除・・・ 24

☆故障かな?と思ったら・・・ 25
お湯の出かた・・・ 25
機器本体・システム(複数台設置)・・・ 26
リモコン・・・ 27
リモコンのアラーム番号が出たとき・・・ 28

☆アフターサービスについて・・・ 29
☆仕様・・・ 30

お使いいただくために

使いかた

長くお使いいただくために

必ずお守りください

⚠ 危険

屋内設置の禁止

●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができなため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。



⚠ 警告

機器設置（および付帯工事）

●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因となります。



ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

囲い禁止

●設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

●給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

機器本体に無理な力を加えない

●機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

地震・火災などの緊急時の場合

●迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
 - ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
 - ③お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。
- すべての処置が終るまでの間絶対に
 - ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
 炎や火花で引火し火災のおそれがあります。



機器の銘板を確認

●機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火やけどをしたり、機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は（→P. 29 参照）



ガス種・電源を確認

この部分を読み取ってください。



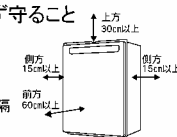
製造年月を示しています。

例) 05. 08 - 2005年8月の製造

(図は633-1002型を示します)

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものは常に図の離隔距離を確保する。



※633-1011型は、左右の離隔距離が1cm以上となります。

- 機器および排気口の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口は洗濯物などをおおわない。不完全燃焼の原因となります。



禁止

⚠ 警告

異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書のP. 25～28「故障かな?と思ったら」に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる

機器本体でのやけどに注意

●機器の使用中心または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



接触禁止

⚠ 注意

用途についての注意

- 台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因となります。

ソーラーシステムと接続する場合

●ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度より高くなることがありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。

長期間使用しない場合

●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

電気事故防止

●この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続する

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- ①シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出るので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ②給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③お湯を止めた後に再使用する時、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、夏期などで水温が高くなっているとき、あるいは、万一機器が故障した場合には、熱いお湯が出るので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ④シャワー給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。
- ⑤浴槽に入るときは、手でお湯の温度を確認して入浴する。また、浴槽中のお湯は上下に温度差がある場合がありますのでご注意ください。



手で温度を確認

分解しない

●お客様自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。



分解禁止

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長しない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因となります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因となります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。電源プラグにほこりが付くと、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因となります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



禁止

お使いいただくために

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 防湿形サブリモコンは防水タイプですが、分解禁止故意に水をかけないでください。メインリモコン、サブリモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいたらしないよう注意してください。

断水のと き

- 断水のと きは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。
- 断水から復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が給水管内にこもることがあります。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P. 21の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



電源プラグを抜く

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP. 20「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。（有料）
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P. 22「再使用する時」の項以下の操作を行ってください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。



給湯栓を閉じる

- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた状態で50分以上続いた場合は、リモコンの再設定（給湯温度・現在時刻等）を行い、表示を確認したあとご使用ください。

お願い

日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください。（詳しくはP. 24をご覧ください）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるところが近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼ファン・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ハンゴ、脚立を使わずにメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 扉などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが滞留しないようにしてください。機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するためです。

給排気について

- 機器は給排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因となります。
- 排気口の周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。



禁止

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部の結露により、機器の寿命を短くします。（冬期の凍結予防を除く）

乾電池に関するご注意

- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は必ず乾電池を取り外してください。そのままにしておきますと、思わぬ事故の原因になります。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がらき出したり、多量の水漏れの原因になります。

温泉水や井戸水の注意

- 温泉水や井戸水を使用しないでください。水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水した場合は、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管や機器を腐食させることがあります。温泉水や井戸水の使用による機器の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。（厨房の排気ダクトの近くは油煙による不具合の原因となります）

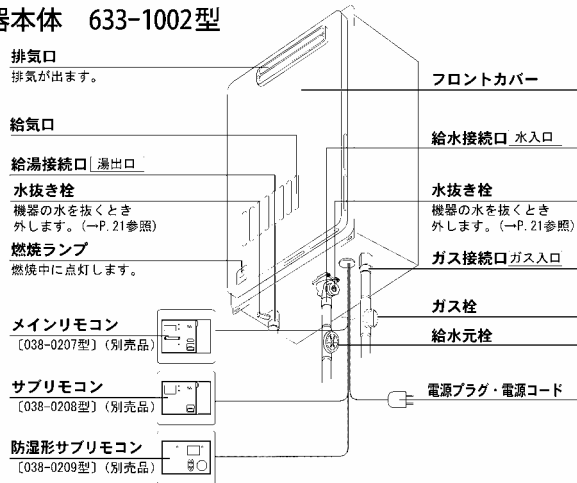
塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

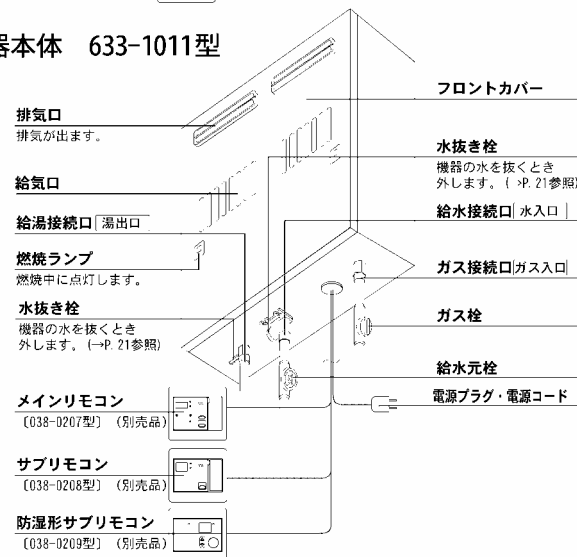
お使いいただくまえに

各部の名称と抜きさき

■機器本体 633-1002型



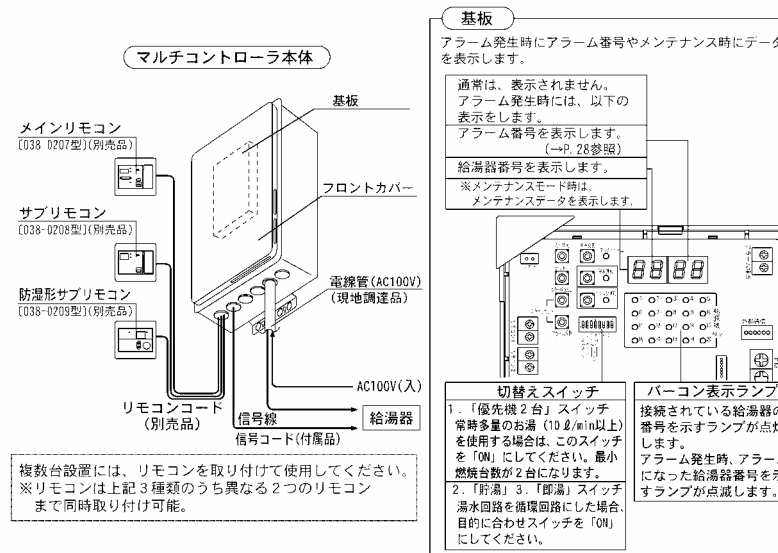
■機器本体 633-1011型



この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

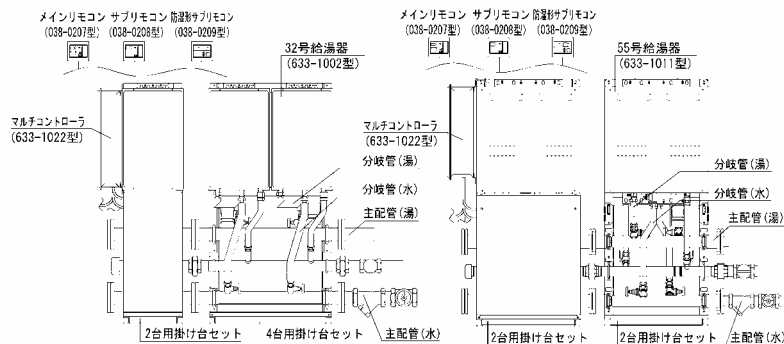
お使いいただくまえに

■マルチコントローラ [638-1022型] (別売品)



■32号システム例(複数台設置)

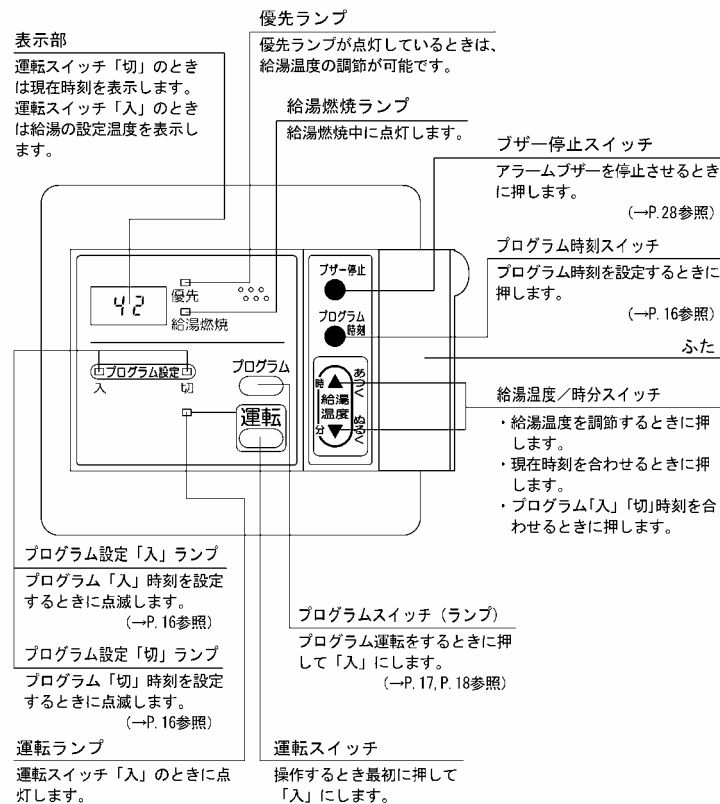
■55号システム例(複数台設置)



各部の名称とはたらき

■メインリモコン [038-0207型] (別売品)

- ・通常はふたを閉じた状態にしてください。
- ・図の表示画面は給湯温度42°Cを表示しています。

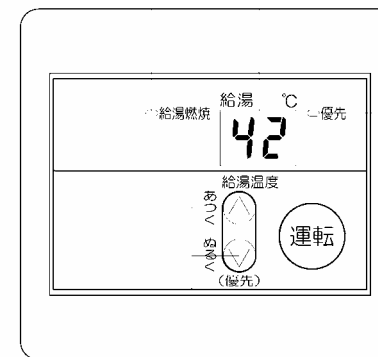


■防湿形サブリモコン [038-0209型] (別売品)

- ・図の表示画面は給湯温度42°Cを表示しています。

給湯燃焼ランプ
 給湯燃焼中に点灯します。

給湯温度表示
 運転スイッチ「入」のとき、給湯の設定温度を表示します。

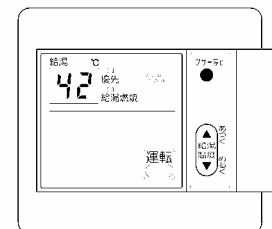


優先ランプ
 給湯の優先があるときに点灯します。

運転スイッチ
 操作するとき最初に押して「入」にします。

給湯温度スイッチ
 給湯温度を調節するときに押します。
 (→P.15参照)

■サブリモコン [038-0208型] (別売品)



メインリモコン、防湿形サブリモコンのついでに、以外から、運転スイッチの「入」・「切」、給湯温度の調節、プザー停止ができます。各部のはたらき、使用方法はメインリモコン [038-0207型] と同じですが、プログラム運転設定、及び時計表示はできません。

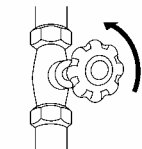
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

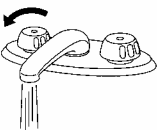
■機器の準備

1 この取扱説明書のP. 24の内容に従って、機器や機器周辺の点検を行います。

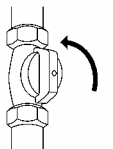
2 給水元栓を全開にします。
機器の下にあります。



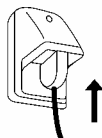
3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。



4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



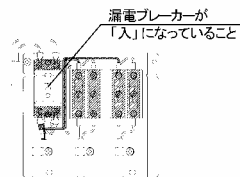
5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



マルチコントローラ (638-1022型) を取付けている場合

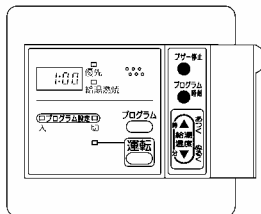
マルチコントローラに電源 (AC100V) が供給されていることを確認してください。

・マルチコントローラのフロントカバーを開け、漏電ブレーカーが「入」になっているか確認。



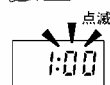
メインリモコン [038-0207型] の現在時刻の合わせかた

メインリモコン [038-0207型] を取付けている場合



設定した現在時刻は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、電源プラグを約50分以上抜いたままにしたとき、また約50分以上停電したときは1:00に切り替わります。再度設定してください。

①時/分スイッチを同時に押す。



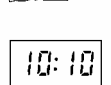
・時刻表示が点滅します。

②時スイッチを押して時の位を合わせる。



・時間の表示は24時間表示です。(0:00~23:59)
〔例〕10:10に設定

③分スイッチを押して分の位を合わせる。



・時刻合わせ後約10秒で時刻表示が点滅から点灯にかわり、設定終了となります。

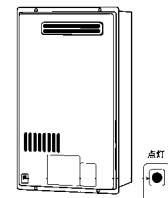
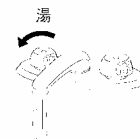
●スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

リモコンなしでお湯を使う

給湯栓を開ければお湯が出ます。
お湯の温度は約60°Cの高温(一定)になります。
必ず混合水栓をお使いください。

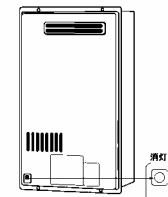
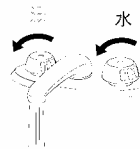
1 給湯栓を開けて、お湯を出します。

給湯器の燃焼ランプが点灯します。



〔図は633-1002型を示します〕

2 お湯と水を混ぜて、お湯の温度を調節します。



〔図は633-1002型を示します〕

止めるには
お湯を
止めます。

給湯栓、給水栓を閉じ、お湯を止めます。

給湯器の給湯燃焼ランプが消灯します。

(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません)

警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

ご注意ください

●給湯栓を閉じても機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。

お願い

●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)

●給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。

●水温が30°C近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なくと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を増やすか、水と混合してお使いください。

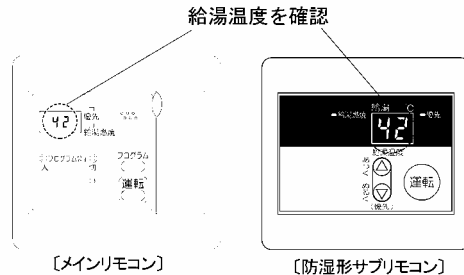
●この機器は約60°C一定出湯の他に約45°C一定、約75°C一定、約80°C一定出湯が可能です。(工場出荷時は約60°C一定) 設定温度を変える場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

リモコン（別売品）でお湯を使う

■操作の基本 リモコンのスイッチをONにして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

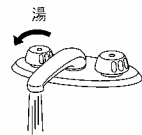
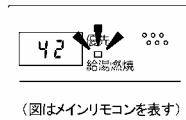
1 メインリモコンまたは防湿形サブリモコンに給湯温度が表示されているか確認します。

表示されていないときは、
運転スイッチを押す。



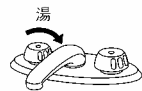
2 給湯栓を開けます。
しばらくお湯が出ます。
給湯燃焼ランプが点灯します。
はじめてお使いになるときの給湯温度は
42°Cに設定されています。

給湯燃焼ランプが点灯



お湯を止めるには
給湯栓を閉じ、お湯を止めます。

お湯が止まると、給湯燃焼ランプが消灯します。
(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません)



⚠警告 ●給湯、シャワー等を使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

📌ご注意ください

●給湯栓を閉じても機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。

✖️

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
- 水温が30°C近くなる夏季では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

■優先の切替えについて メインリモコンの給湯温度で浴室のシャワーを使うと熱い場合があります。給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。シャワーを使うときは、防湿形サブリモコンを優先にし、防湿形サブリモコンで設定した湯温でシャワーを使えます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

■優先を切替える

1 メインリモコンが優先のときに
防湿形サブリモコンを優先にするには
防湿形サブリモコンの スイッチを
押します。

防湿形サブリモコンに優先ランプが点灯します。
防湿形サブリモコンが優先となり、
防湿形サブリモコンからお湯の温度調節ができます。

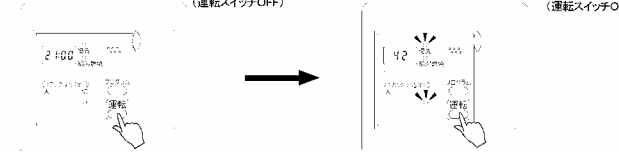


2 防湿形サブリモコンが優先のときにメインリモコンを優先にするには
メインリモコンの運転スイッチをOFFにして再度ONにします。

メインリモコンに優先ランプが点灯します。
メインリモコンが優先となり、
メインリモコンからお湯の温度調節ができます。

運転ランプが消える
(運転スイッチOFF)

運転ランプと
優先ランプが点灯
(運転スイッチON)



⚠警告 ●シャワー・給湯の使用中に優先を切替えない。お湯の温度が急変してやけどをするおそれがあります。

📌ご注意ください

- メインリモコンでは優先ランプが点灯していないときに給湯温度を設定しようとすると、「ビビビビ」と警告音が鳴って受け付けません。優先を切替えてから給湯温度を設定してください。
- 優先を切替えるときには他の場所で使われていないことを確認してから切替えてください。
- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°C以上だった場合には、自動的に55°Cにセットし直されます。(単独使用時) ※マルチコントローラを使用している場合は、変更されません。
- やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 別売のサブリモコン(038-0208型)を設置している場合。
・メインリモコンが優先のときは、サブリモコンにも優先があります。
・サブリモコンとメインリモコンは連動しています。サブリモコンのスイッチをONにすると、メインリモコンとサブリモコンの両方に優先ランプが点灯し、メインリモコンでも給湯温度を調節できます。

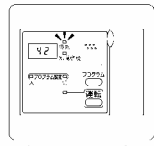
リモコン（別売品）でお湯を使う

■給湯温度の調節 メインリモコン、防湿形サブリモコンでお湯の温度を調節します。

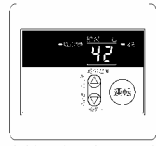
1 給湯温度を調節したいリモコンに優先ランプが点灯しているか確かめます。

優先ランプが点灯していないときは、P. 14に従って点灯させてください。

優先ランプが点灯



〔メインリモコン〕



〔防湿形サブリモコン〕

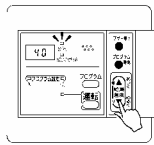
2 給湯温度スイッチで給湯温度を調節します。

- ▲ スイッチを押すと温度が高くなります。
- ▼ スイッチを押すと温度が低くなります。

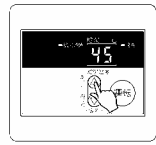
以下の16段階で設定できます。

標準	→	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60	70	75
高温対応	→	37	38	39	40	41	42	43	44	45	50	55	60	65	70	75	80
		食器洗いなど				シャワー・給湯など				混合水栓で使うときやお風呂へのあついたし湯など							

※上記のどちらかに設定できます。（目安の温度）
※給湯温度の高温対応の設定は、設置工事時にします。設定は施工業者に確認してください。（メインリモコン取付け時）



〔メインリモコン〕



〔防湿形サブリモコン〕

- お願い**
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃以上には設定できません。60℃以上に設定しようすると“ヒビヒビ”と警告音が鳴って受け付けません。
 - 上記で60℃以上に設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。

- XE**
- はじめにお使いのときは、給湯温度表示が42℃になります。
 - 通常、給湯温度は運転スイッチをOFFにしても記憶されていますが、給湯温度を60℃以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。（単独使用時） ※マルチコントローラを使用している場合は、変更されません。
 - 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

プログラム運転を使う

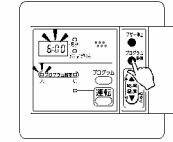
■プログラム運転について プログラム運転はメインリモコンを取付けている場合に使えます。毎日決まった時刻に自動で運転の「入」/「切」ができます。

■プログラム時刻の合わせかた まず、メインリモコンの現在時刻が合っているかを確認します。合っていない場合は合わせてください。（→P. 11参照）そのあとプログラム時刻を合わせます。

1 プログラム時刻スイッチを押します。

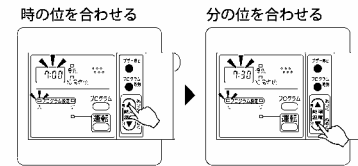
「入」の時刻が点滅し、プログラムランプが点滅します。

「入」時刻表示とプログラムランプが点滅



2 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。

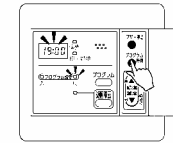


（例）7:30に設定

3 プログラム時刻スイッチを押します。

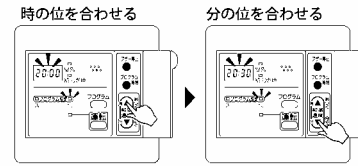
「切」の時刻が点滅します。プログラムランプが消灯し、プログラム切ランプが点滅します。

「切」時刻表示とプログラム切ランプが点滅



4 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。約10秒後、表示部が現在時刻表示、または給湯温度表示に戻り、プログラム切ランプが消灯します。



（例）20:30に設定

- XE**
- セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので、利用する時刻が決まっているときはプログラム時刻は毎日セットする必要はありません。
 - ▲▼スイッチは押し続けると連続的に数字が変わります。

使いかた

プログラム運転を使う

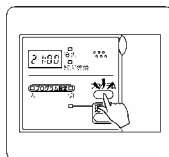
■プログラム運転のしかた

- メインリモコンの現在時刻・プログラム時刻を確認してください。
プログラム時刻の確認は、プログラム時刻スイッチのみを押して行ってください。1回押すごとに順次表示します。
- プログラム時刻の変更はP.16「プログラム時刻の合わせかた」を参照してください。

プログラム運転をセットするには

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが点灯します。
プログラム運転がセットされた状態になります。

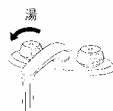
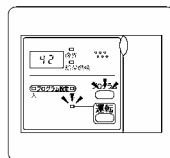


(図の時刻表示は現在時刻を表示しています)

「入」時刻になると

運転が「入」になり、
運転ランプが点灯します。
表示部が給湯温度表示になります。
給湯栓を開けばお湯が出ます。

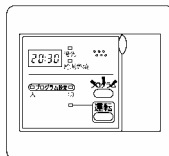
運転ランプが点灯



「切」時刻になると

運転が「切」になり、
運転ランプが消灯します。
メインリモコンでは表示部が
現在時刻表示になります。
防湿形サブリモコン・サブリモコンでは
給湯温度表示が消えます。

運転ランプが消灯



- お願い**
- プログラム運転中（プログラムスイッチ点灯中）でも、運転ランプ（メインリモコン）が消灯しているときは給湯栓を開けてもお湯は出ません。給湯を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてから使用してください。

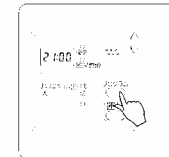
プログラム運転を解除するには

運転の停止中に解除する

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが消灯し、
プログラム運転が解除された状態になります。

プログラムスイッチが消灯

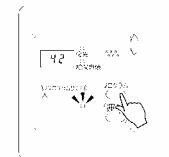


運転中に解除する

プログラムスイッチを押します。

プログラム運転は解除されますが、
通常運転になります。
プログラムスイッチは消灯し、
運転ランプは点灯したままです。

プログラムスイッチは消灯
運転ランプは点灯したまま



プログラム運転中に停止するには

プログラム運転中（プログラムランプ点灯中）に
運転を停止するときは、

運転スイッチを押します。

運転動作が変わり（運転→停止、停止→運転）もう1度押すともとに戻ります。
運転中は運転ランプが点灯し、停止中は消灯します。
プログラム運転の設定は解除されません。
（プログラムスイッチは点灯したままです）

- お願い**
- プログラム運転をセットした後、停電や電源プラグを抜いたときは、セットが解除されます。電源復帰後、プログラムスイッチを押してセットし直してください。

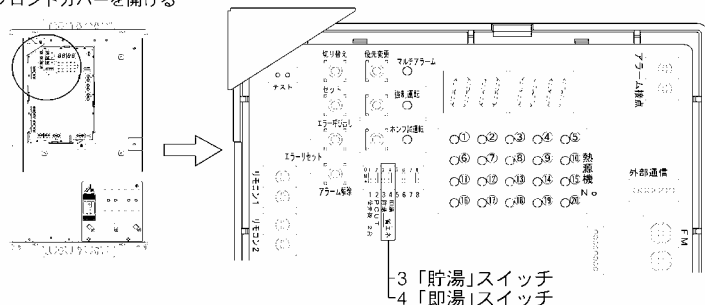
使いかた

循環回路制御について

■循環回路制御について

マルチシステムで温水配管を循環式にした場合、マルチコントローラ（638-1022型）本体のディップスイッチを切替えることにより、下記のような制御が行えます。

フロントカバーを開ける



1 通常ポンプ循環 (工場出荷時の設定)	3「貯湯」、4「即湯」スイッチをどちらもOFFにする	運転スイッチ「入」で循環ポンプ「ON」となり、回路内の湯水を常時循環させ、湯温をリモコンの設定温度に保ちます。
2 即湯循環制御	4「即湯」スイッチをONにする	運転スイッチ「入」で回路内の湯温がリモコンの設定温度に近く、熱源機を燃焼させる必要のないときは循環ポンプを停止させ、燃焼が必要ときだけ循環ポンプを「ON」にします。 (循環ポンプは30分毎に約1分「ON」となり、燃焼が必要か否かを判断します。外気温や施工条件により30分たたくても「ON」になる場合があります)
3 貯湯循環制御	3「貯湯」スイッチをONにする	運転スイッチ「入」で貯湯タンク内の湯温がリモコンの設定温度に近く、熱源機を燃焼させる必要のない場合、強制的に熱源機内の給湯弁をしぼり、循環量を減らします。 (循環ポンプは「ON」のままです)
4 即湯省エネ循環	3「貯湯」、4「即湯」スイッチをどちらもONにする	即湯循環制御と同様ですが、循環回路内の湯温を50℃とします。 (リモコンの設定温度が50℃以上のときのみ省エネに有効です)

❗ご注意ください

- 設定変更を行う際は、必ず電源を切ってください。
- 上記の設定を変更する場合には、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。そのため外気温-15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。※マルチコントローラを使用し、循環回路を組んでいる場合は、気温が下がってくると自動的に循環ポンプが運転し、循環回路内を凍結予防できます。



- お願い**
- 凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、ブレーカーを「切」にすると作動しませんのでご注意ください。
 - 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

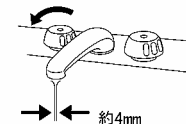
寒波などで特に寒くなりそうなき（外気温-15℃以下やそれ以上の気温でも風のある日）は、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

1. 給湯栓を開いて水を流す方法 2. 機器の水を抜く方法

1. 給湯栓を開いて水を流す方法（別売のリモコンを取付けている場合）

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 別売のリモコンを取付けている場合は運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。リモコンを取付けていない場合はこの方法で凍結を予防することはできません。
- 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。



2 ガス栓を閉じます。

- お願い**
- 次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。
 - 別売のリモコンを取り付けていない場合は、1. 給湯栓を開いて水を流す方法では凍結を予防することができません。他の方法で凍結予防をしてください。

- メモ**
- 1. 給湯栓を開いて水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

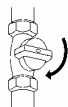
冬期の凍結予防をするには

2. 機器の水を抜く方法

入居前や長期使用しない場合は、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- 注意** ● 使用后すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- お願い** ● 機器の水を抜く方法では作業の間、ブレーカーを「切」にしないでください。

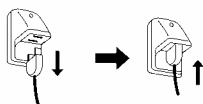
1 ガス栓 (1) を閉じます。



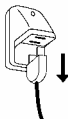
5 すべての給湯栓を全開にします。



2 電源プラグ (5) を抜き、再度コンセントに差し込みます。

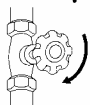


3 15秒ほど待ち、再び電源プラグ (5) を抜きます。

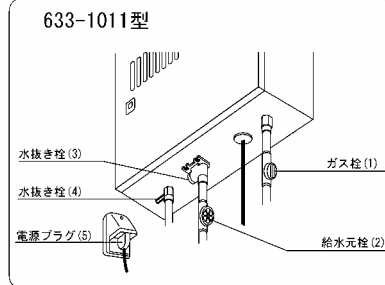
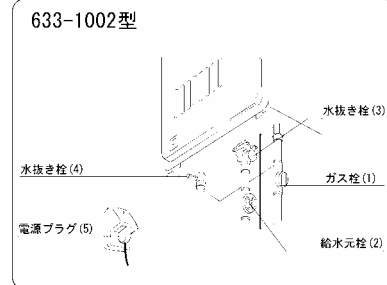


6 水抜き栓 (3) (4) を外して水が出ることを確認します。

4 給水元栓 (2) を閉じます。



・以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。



- お願い** ● 水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 複数台設置の場合は、主配管、分岐配管等、配管の水抜きも行ってください。(→P. 8 参照) その後、マルチコントローラの電源も切ってください。(→P. 11 参照)

■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。
※複数台設置の場合は、初めにマルチコントローラの電源を入れてください。(→P. 11 参照)

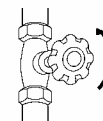
1 水抜き栓 (3) (4) およびすべての給湯栓を閉じます。



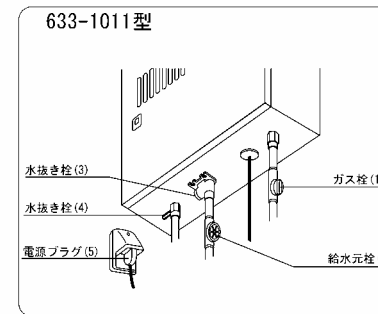
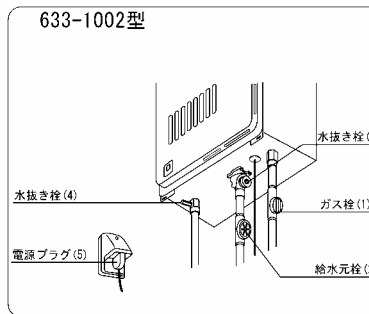
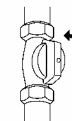
3 電源プラグ (5) をコンセントに差し込みます。



2 給水元栓 (2) を開けて、再度、すべての給湯栓を開けて水が出ることを確認します。(機器や配管より水漏れがないか確認してください)



4 ガス栓 (1) を開けます。



- お願い** ● 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

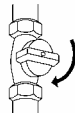
長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

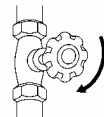
■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓 (1) を閉じます。

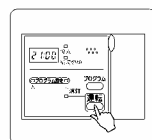


2 給水元栓 (2) を閉じます。 (配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります)

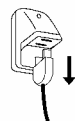


3 別売品のリモコンを取付けている場合は運転スイッチを「切」にします。リモコンを取付けていない場合は電源プラグを抜きます。

リモコンを取付けている場合



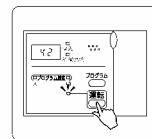
リモコンを取付けていない場合



4 ときどき給水元栓 (2) と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれれば使用できます。通水したら機器および配管より水漏れがないことを確認してください。ガス栓 (1) を開けます。

5 別売品のリモコンを取付けている場合は運転スイッチを「入」にします。リモコンを取付けていない場合は電源プラグをコンセントに差し込みます。

リモコンを取付けている場合



リモコンを取付けていない場合



- お願い**
- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額の修理費用 (有料) がかかる場合があります。
 - 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見ながら水漏れしていないことを確認してください。

点検のポイント・お手入れのしかた

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

■点検のポイント

次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
また、整然としていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などが雑然としていると、機器の内部に害虫 (ゴキブリなど) が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になります。
- 6 積雪や屋根から落ちた雪により、給気口・排気口が塞がれていませんか？
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を塞ぐことがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。



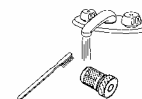
■定期点検のおすすめ (有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に新築などの場合)

- 1 給水元栓を閉じる。
 - 2 給水接続口にある 3 歯ブラシなどで洗う。
 - 3 歯ブラシなどで洗う。
 - 4 元のように取り付ける。
- ※複数台設置の場合は分岐管 水抜き栓を外す。
(湯) (水) のバルブを閉じる。



【図は633-1002型を示します】

警告 ● フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

注意 ● ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター (金網) を掃除してください。
- メインリモコン、サブリモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、防湿形サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い

- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

故障かな?と思ったら

■お湯の出かた

こんなとき

給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない

故障ではありません

最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。(即湯循環システムの場合は除く)

夏などぬるいお湯が出ない

給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。

冬などあついお湯が出ない

お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。

給湯栓を絞るすぎて水になった

給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3ℓ以下になると消火するためです。

お湯が白く濁って見える

水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。

こんなとき

あついお湯が出ない

ここを調べてください

- ◎湯温調節は適切ですか? (P. 15)
- ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)

ぬるいお湯が出ない

- ◎湯温調節は適切ですか? (P. 15)
- ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24)
- ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12, P. 13)
- ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)

お湯が出ない
(運転しない)

- ◎マルチコントローラに通電されていますか? (マルチコントローラを使用している場合) (P. 11)
- ◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P. 11)
- ◎停電していませんか? (P. 5)
- ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
- ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
- ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24)
- ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12, P. 13)
- ◎断水していませんか? (P. 23)
- ◎凍結していませんか? (P. 23)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

■機器本体・システム(複数台設置)

こんなとき

お湯を使っていないのに時々給湯器が燃焼する
循環ポンプが止まったり動いたりする

故障ではありません

システム(複数台設置)で循環回路を組んだ場合、循環回路内のお湯の保温のため、実際にお湯を使わなくても給湯器が燃焼することがあります。また、循環のボタンにより、循環ポンプがON-OFFします。(P. 19)
外気温が低く機器内の凍結予防装置が働くと、循環ポンプがONになります。(P. 19)

寒い日に排気口から白い湯気が出る

外気温が低いときは排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。

出湯停止後も燃焼ファンの回転音がする

再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。

給湯栓を閉じると、給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる

給水側の水抜き栓は過圧逃し弁をかかえています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。

こんなとき

燃焼ランプが点灯しない
(運転しない)

ここを調べてください

- ◎マルチコントローラに通電されていますか? (マルチコントローラを使用している場合) (P. 11)
 - ◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)
 - ◎停電していませんか? (P. 5)
 - ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
 - ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
 - ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24)
 - ◎給湯栓が十分開いていますか? (P. 12, P. 13)
 - ◎断水していませんか? (P. 23)
 - ◎凍結していませんか? (P. 23)
- 上の9項目を確認して、*リセット操作をしてください。

燃焼ランプが点滅した

- ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
 - ◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)
 - ◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24)
- 上の3項目を確認して、*リセット操作をしてください。

使用中に消火した

- ◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)
- ◎設定温度が低過ぎませんか? (P. 15)

運転中に機器から異常音が聞こえる

点検依頼をしてください。

*リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■リモコン

こんなとき **故障ではありません**

現在時刻が合っていない

約50分以上の停電があったときや、約50分以上電源プラグを抜いた後再通電すると時刻が1:00から進み始めます。再度、現在時刻を合わせてください。(メインリモコンを取付けている場合)

こんなとき **ここを調べてください**

画面表示しない

◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)

リモコンの運転ランプが点灯しない

◎停電していませんか? (P. 5)

給湯燃焼ランプが点灯しない(運転しない)

◎電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)

◎停電していませんか? (P. 5)

◎ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)

◎給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)

◎給水口フィルターが詰まっていますか? (P. 24)

◎給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12, P. 13)

◎断水していませんか? (P. 23)

◎凍結していませんか? (P. 23)

上の8項目を確認して、※リセット操作をしてください。

リモコンのアラーム番号が表示されたとき

リモコンのアラーム番号を確認してください。(P. 28)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

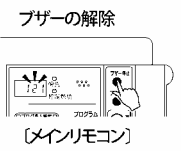
※リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

- こんな場合には安全装置が働きます。()はアラーム番号
- 寒いとき、機器の電気ヒーターが動き機器内の凍結を予防します。・・・凍結予防装置
 - バーナーが正常に燃焼しないときに作動し、ガスを自動的に停止します。(121)・・・立消え安全装置
 - 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。・・・漏電安全装置
 - 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721)・・・残火安全装置
 - 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(121)・・・過熱防止装置
 - 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の破損を防止します。・・・過圧防止安全装置

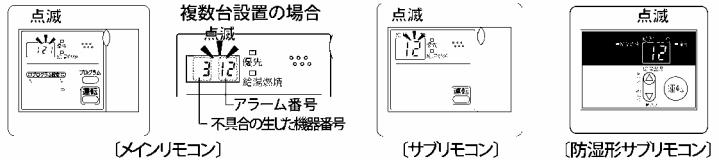
故障かな?と思ったら

■リモコンのアラーム番号が出たとき

- メインリモコンおよびサブリモコンは、アラーム番号の表示点滅と同時にアラームブザーが鳴ります。アラームブザーの解除はメインリモコンまたはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。(アラームブザーは解除しますが、アラーム番号の点滅表示は解除されません) 防湿形サブリモコンは、アラーム番号の表示点滅のみでブザーは鳴りません。
- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。



例：図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。



本体表示	アラーム番号	原因	処置
燃焼ランプ点滅	031 (03)	ガス種選択異常	それでもアラーム番号が出るときは、修理を依頼してください。 ※設置条件により、アラームの有り無しとなります。
燃焼ランプ点滅	701 (70) 711 (71)	電装基板の故障のため	
	111 (11) 121 (12)	火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため	
	311 (31) 321 (32) 331 (33)	温度検出器の故障のため	
	391 (39) 611 (61) 721 (72)	燃焼系の故障のため	
	510 (51)	ガス回路の故障のため	
	631 (63) 661 (66)	外部循環ポンプ故障(※) 水回路の故障のため	
441 (44) 681 (68)	給水フィルター詰まり 外部ファンモーターOFF故障		
741 (74) 751 (75)	メインリモコン通信異常 サブリモコン通信異常	使用できますが十分な性能が出ない状態ですので、なるべく早く修理を依頼してください。	
761 (76)	熱源機通信異常		
燃焼ランプ点滅	101 (10) 651 (65)	給排気の異常が発生したため 燃焼異常検知装置が作動した 水回路の故障のため	機器を使用できません。電源プラグを抜かずガスクレ・給水元栓を閉じて修理を依頼してください。
燃焼ランプ点滅	991 (99)	燃焼異常が発生したため 燃焼異常検知装置が作動した	

()は、サブリモコン、防湿形サブリモコン、マルチコントローラおよび複数台設置時のメインリモコンの表示です。マルチコントローラのアラーム番号の表示位置は、8ページをご覧ください。

長くお使いいただくため

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- P. 25～P. 28の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名:(例) 633-1002型
ガスの種類: 13A
※品名ラベルと銘板をご覧ください。(→P. 1参照)
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号など)できるだけ詳しく
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- このガス給湯器には保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設ともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P. 21参照)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

仕様

【仕様表】

項目	内容	
	633-1002型 GS-321GW	633-1011型 GS-550GW
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅352×奥行235×高さ580/27	幅630×奥行275×高さ642/50
種類	先止め式 屋外設置壁掛形	
給湯方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	
設置方式	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)	
点火方式	10kPa(0.1kgf/cm ²)	
使用水圧	20A(R3/4)オネジ	
最低作動水圧	25A(R1)オネジ	
給湯ス	20A(R3/4)オネジ	
接続	25A(R1)オネジ	
電気関係	AC100V(50/60Hz)	
消費電力	84W	125W
凍結予防時	106W	192W
電源コード	VCT(2心)機外長2.0m	
安全装置	水流検知装置(水量センサー) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 送風検知装置(回転数検知方式) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 漏電安全装置(漏電リレー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター) 誘導雷保護装置(サージアブソーバー) 残火安全装置(バイメタル式)	
付属品	壁固定ネジ一式・信号コード	
別売品	メインリモコン・サブリモコン・防湿形サブリモコン・リモコンコード	

【能力表】 633-1002型

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW{kcal/h}	出湯能力(最大時)(ℓ/min)		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス	13A 69.2kW{59,500kcal/h}	32.0	20.0	20A(R3/4)

【能力表】 633-1011型

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW{kcal/h}	出湯能力(最大時)(ℓ/min)		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス	13A 122kW{105,000kcal/h}	55.0	34.4	20A(R3/4)

◎ガス: JISIに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa [2kgf/cm²] のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

※十分な出湯能力を出すためには、200kPa [2kgf/cm²] 以上の水圧が必要です。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために